

研究課題名

各種皮膚疾患患者における酸化ストレスレベルの評価

研究の意義

酸化ストレスとは、「生体の酸化反応と抗酸化反応のバランスが崩れ、酸化反応に傾き、生体にとって望ましくない状態となること」と定義されます。酸化ストレスの高い状態が続くと、様々な疾患が起こりやすくなることがわかってきており、皮膚疾患においても酸化ストレスの関与が推測されています。本研究では、酸化ストレス度を評価するために尿中の8-ヒドロキシデオキシグアニジン（8OHdG）という物質を測定します。尿中8OHdGと皮膚疾患の重症度・治療効果との関連性などを調べ、因果関係が明らかになれば、皮膚疾患の重症度の評価や治療法の選択の一助となる可能性が考えられます。

研究の目的

特定の皮膚疾患患者様の尿を採取し、尿中8-ヒドロキシデオキシグアニジン（8OHdG）を測定します。この結果をもとに酸化ストレスと皮膚疾患との関係や、酸化ストレスと疾患の重症度や治療効果との関連性について評価し検討します。

研究の方法

アトピー性皮膚炎、尋常性乾癬などの皮膚疾患患者様を対象として、試験管1本分程度の尿を採取し（初回、および治療開始後で最大3回まで）、尿中8-ヒドロキシデオキシグアニジン（8OHdG）を測定します。

研究の対象

20歳以上の各種皮膚疾患患者様

研究期間

平成24年10月1日～令和3年9月30日

既存情報の利用目的等

ご自身の情報を研究に使用させて頂くことに対して同意頂けない場合は、下記の申し出先までご連絡ください（代諾者からの申し出も受付いたします）。同意いただけない事により不利益を被ることは一切ありません。なお、研究結果が出た後の参加拒否の申し出については、データを研究結果から削除することができかねますので、予めご了承ください。対象者の方（代諾者）からの希望があれば、他の対象者の方の個人情報保護や当該臨床研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、当該臨床研究の計画及び方法に関する資料を閲覧することが可能です。

個人情報の内容およびその利用目的、開示等の求めに応じる手続き

本研究で使用する患者様の診療情報と検体の情報は、新たに研究登録番号で管理し、カルテ番号等と研究登録番号を対比させたリストは、パスワードを付けた電子ファイルとして、特定の研究者しかログインできないようにした皮膚科学教室のコンピュータに保管いたします。患者様から、ご自分の個人情報の開示を求められた場合には、患者様の同意する方法により情報を開示いたします。

個人情報の取り扱いに関する相談窓口

対応者：森脇 真一

連絡先：〒569-8686 大阪府高槻市大学町2番7号

大阪医科大学 皮膚科学教室

利益相反について

本学は、臨床研究を含む自らの研究成果について積極的に地域社会へ還元することで、社会から求められる研究拠点を目指しております。一方で、研究に関連して研究者が企業から経済的利益を得ている場合には、研究の成果が歪められる、または歪められているとの疑念を抱かれる可能性が出てきます。このような利益相反の状態を適切に管理し、研究の透明性、信頼性および専門性を確保、または確保していることを社会に適切に説明するため、本学では、利益相反に対する基本的な考え方を「大阪医科大学の研究に関する利益相反ポリシー」として定め、研究の実施やその情報の普及・提供が適正になされているかどうかを客観的に判断し評価する仕組みとして研究に係る利益相反マネジメントを導入しております。

本研究に必要な資金は皮膚科学教室の講座研究費から拠出され、特定の企業などの利益相反はありません。

研究者名

研究責任者： 皮膚科学 教授 森脇 真一

主任責任者： 皮膚科学 准教授 助教（准）島本純子

問い合わせ、参加拒否の申し出先

〒569-8686 大阪府高槻市大学町2番7号

大阪医科大学 皮膚科学教室

TEL 072-683-1221(代表) 内線 2375 森脇真一